

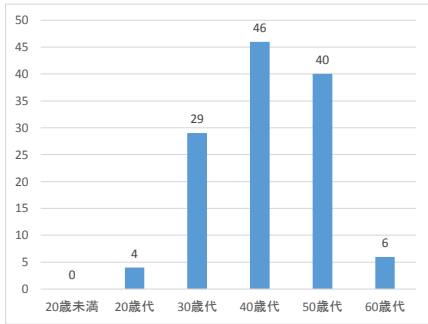
医療介護関係者間の情報共有ツールに関する調査結果

調査日：平成29年10月10日～10月31日

対象者：湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会、セフィロト病院、市立長浜病院、長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、訪問看護ステーション第6地区支部、湖北地域介護支援専門員連絡協議会、滋賀県理学療法士会、地域包括支援センター 各団体よりプロジェクト委員を通じ、無作為に10名づつ選出

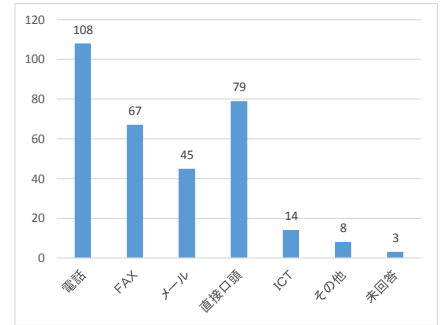
●年齢

20歳未満	0
20歳代	4
30歳代	29
40歳代	46
50歳代	40
60歳代	6



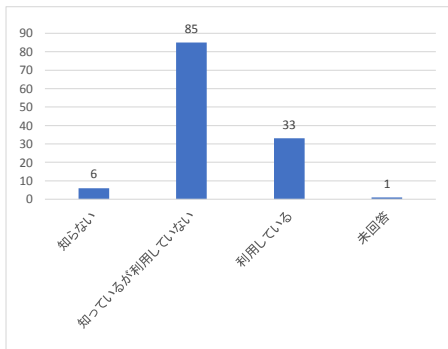
●現在の情報共有の方法

電話	108
FAX	67
メール	45
直接口頭	79
ICT	14
その他	8
未回答	3



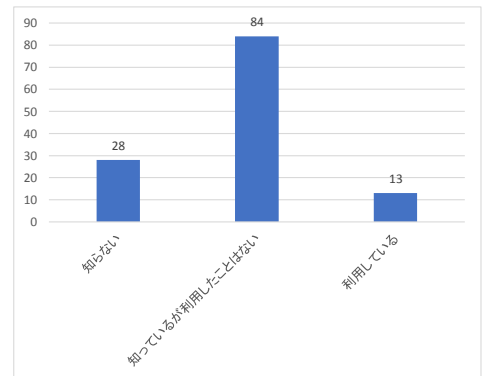
●「淡海あさがおネット」について

知らない	6
知っているが利用していない	85
利用している	33
未回答	1



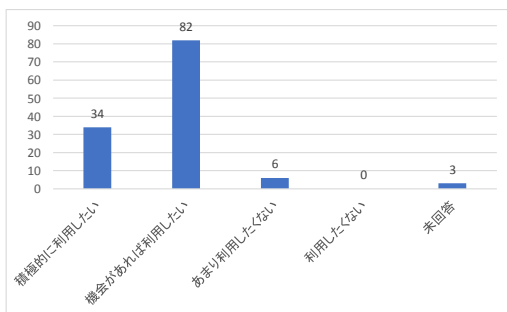
●画像や動画での情報共有について

知らない	28
知っているが利用したことはない	84
利用している	13



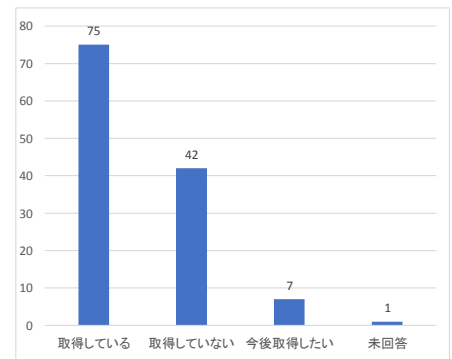
●今後のICT活用について

積極的に利用したい	34
機会があれば利用したい	82
あまり利用したくない	6
利用したくない	0
未回答	3



●淡海あさがおネットのID取得について

取得している	75
取得していない	42
今後取得したい	7
未回答	1



第2回淡海あさがおネット利用に関するアンケート調査結果と、運用マニュアルの周知度と活用の調査結果、追加調査の結果、平成28年度からプロジェクト委員会の立ち上げ、事例発表会、操作研修会等を開催してきたが、第1回の調査と変わらず利用は2割程度。しかし、ICTの意識についての問いには、今後「積極的に利用したい」「機会があれば利用したい」が93%であった。その理由として、情報共有・連携が早くできる。画像や動画を活用することで正確に情報が伝えられるからといった意見もあった。しかしながら、淡海あさがおネットが浸透しない背景には、ITに対する苦手意識や認識不足、現在多様な伝達手段で困っていない等があると考えられる。今後、好事例を提供することでの模擬体験、モデル運用を通して成功体験を感じてもらうなど、次の一歩が踏み出せる機会を企画していきたい。

	積極的に利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない
医師	・利用したいと思っているが、あさがおネットはなかなか開けられない。	・使いはじめにハードルがある(慣れるまでが大変) ・アクセス時間がかかることもあり、余裕がない。(時間的に)	・TEL、FAXの方が簡単な為
	・使いやすければ必須ツールと考えます。ただ診察室のパソコンだと非常に利用しにくく、訪問診療先、往診先で使えるものがあれば願います。		
歯科医師		・情報確保の為	・セキュリティが心配
		・テレビで話題になっているから	・地域の全ての患者を網羅しているわけではないので、あまり活用性がないように思われる。
		・設備の準備が大変そうなので	
		・他職種との連携は重要ではあるが、往診頻度が少なく、口頭伝達で事足りている。	
病院看護士	・電話ではつながらないこともあるため	・患者情報が効率的に把握できるツールがあれば利用したい。口頭でのやりとりは主観が入り、理解度が人によって異なるため	
	・患者、家族の負担も少なくスムーズな診療に繋がると思う。	・操作方法がもうひとつわからない	
	・現場での仕事(業務範囲)にないため	・便利だと思うから	
	・淡海あさがおネットの機能について知識がないため、利用にいたらない。	・実際に利用してみないと実感がわかない為 ・誰が見ても同じ情報が誤りなく見えるので	
	・患者の受け入れや在宅療養を依頼する場合、事前に情報があることでスムーズに診察ができ看護も継続できる。	・サマリーなどメールでお互いに送れば時短になる。また、画像、動画など在宅→病院 病院→在宅で利用すると、カンファレンスが短くなると思う。	
訪問看護士	・現在ICT利用をしているので	・利用者さんのデータ、画像など、病状を把握するのに利用できたらいいと思うことはあるしかし、主治医とのネットワークが十分整っていないように思う。私も利用したことがないので、円滑に繋がるのか不安もあります。一度テストでもいいので、利用する機会があればと思います。	・相手がすぐに画面をみて返事をしてくれるわけではないので、直接やりとりした方が早く伝えられ回答が得られる。
	・便利だと思うが、手技、PCの扱いの訓練が必要。		
	・急ぎの要件でなければ、充分連絡利用でき便利。電話対応の時間が減る。医師に対して診療時間を気にせず連絡できる。		・症状を見て判断に迷う時や、褥瘡など皮膚状態は、画像や動画をリアルタイムで上申することで、対応や治療もスムーズに進むと思うので、利用したいと思う。
			・急ぎの内容については直接電話連絡で問題なくできている。急いでいない内容については情報交換でき安心できる
ケアマネ	・登録されていない医師もおられるので、登録されると良いと思うことがある。	・ログインをするのが、毎回めんどろ、なので頻回に活用しようと思えないが、定期的には見るようにしています。	・ICT化が苦手である
	・医療とは特に活用したい。急な対応時などにとっても良いと思う。画像(褥瘡写真など)を直接事業所や主治医に届けることがあります。皆で活用していきたいです。	・しかし、ログインの為のパスワード入力等時間がかかるし、面倒。	
	・時短になる。ただ7各職種が利用者様から同意書をもらう必要があると聞いているが、訪問看護報告書がくることがある。こちらは同意書を得ていないが良いのが疑問。		
	・情報共有や連携を早くできる。動画や画像を活用することで、より正確に相手に伝わる。		
	・大変便利なので、利用したいですが、登録されていない方や送信しても見てもらえないこともあり		

	積極的に利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない
M S W ・ P S W		<ul style="list-style-type: none"> ・精神科分野では話題にのぼることが少なく、あまり実感がない。 ・情報共有する時にICT利用が効率良いと感じれば利用したい。 ・有効なケースについて利用していきたいと思う。 ・便利であるなら利用したい。 ・投資に見合った効果が見込めるのであれば、積極的に活用したい。 ・情報共有をする際に、お互いの連絡できる時間帯が合わずに、タイムリーに情報共有できないことがあります。そういったときに、活用できると良いのではないかと考えます。 ・現在、電話でのやりとりが多いが、実際に自分の目で同じ情報を見られると、話が進みやすいと思う。 ・多職種で情報を共有していく事で、医療、介護、福祉それぞれの現場での適切な介入がしやすくなるのではと感じる。 	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	<ul style="list-style-type: none"> ・画像も送れるので、相手方に説明しやすいです。 ・自分が情報を取りにいかなくても、関係者の動きがわかる。 ・個人情報を守られる。時間の管理ができる。関係者で情報共有、共通理解ができる。 ・医師や訪問看護師、セラピストなどと共有できるといいと思うケースがあるため。 ・時間がない等、直接相手に伝えることが出来ない時に有効に活用できる。視覚での媒体として残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有が円滑に行え、連携が取りやすくなる為。パソコン操作が慣れない事は、操作することにも手間がかかるので、画像や動画の使い方など便利な情報は使い方を教えて欲しい。 	
薬 剤 師	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しいDr等の時間をとることなく、薬物治療に必要な情報が得られる為。 ・大変便利なシステムだと思います。多くの方が「淡海あさがおネット」を利用し情報がスピーディーに共有できることを願います。 ・びわこメディカルネットはたくさんの情報がみられるので、積極的に利用しています。あさがおネットは以前に病院からうちの薬局を登録しましたと連絡があったことがあるが、患者の情報を誰ものせておられず、よくわからないままそれ以降は使っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン仕事が増えるのに抵抗がありますが、時代の流れで活用しないといけないと考えています。 	
保 健 師	<ul style="list-style-type: none"> ・文章、口頭だけでは情報共有不十分、画像や動画でイメージができるから。 ・もっと患者を取り巻く職種が情報共有を気楽に行い、患者がよりよい在宅生活ができるようになればいい。 		
P T S T O T	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの事業者、施設などで使用できる環境であればタイムリーに情報共有ができるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムリーな情報を確認できれば良い。 ・活用しやすい状況ならしたい、登録も多いとよい。 ・リアルタイムで情報共有がしやすくなると思うため。 	